

「研修歴」の申請に関する必要書類のフロー

申請は令和4(2022)年3月31日まで
(郵便必着)

申請に必要な書類

研修実施の担保

- (1) 研修修了証の写し(必須)…表1の内容が記載申請時点で未交付の場合は後日でも可
- (2) 研修期間が確認できる書類(必須)
研修施設等から提供された、研修案内や研修スケジュール等で研修期間が明記されたもの
- (3) 研修内容が確認できる書類(必要に応じて提出)
研修施設等から提供された、研修案内や研修スケジュール等
内容が不十分な場合は、追加の提出書類が必要です

表1 研修修了証に必要な項目※

- 1) 発行機関は研修病院または研修実施団体
- 2) 発行機関の公印が押印されている。または、研修実施部署の所属長の記名押印または署名が記載されており、所属長であることが判断できる役職名が併記されていること
- 3) 研修者氏名が記載されていること。
- 4) 研修を適切に修了したことを確認できる内容が記載されている
- 5) 発行日または研修終了日等の日付が記載されている

※詳細は基準を参照してください

「研修内容が確認できる書類」について 必要に応じて追加提出する書類

30日以上のがん研修の確認

【がんに関する専門研修である】

- ① 研修期間が30日間以上設定されていることがわかる

【上記以外の研修である】

- ② がんに関する研修期間が30日間以上あることがわかる

- ③ 研修期間が30日間以上あるが、がんに関する明記がない

注) 研修期間が明示されていない資料は認めない

研修内容に必要な項目

研修施設から提供された
「研修内容が確認できる書類」に
表2の項目に関する内容が明記されている

明記されている

明記されていない

連携に関する内容

病院と薬局の連携に関する内容について、

- ① 研修で実施していることが明記されている
- ② 研修で実施しているが明記されていない
- ③ 研修では実施していない

必要に応じて提出する様式

追加の様式不要

様式1-1 (Excel)

「がんに関する研修期間の内訳」
(自己申告)

様式2-1「がんに関する研修期間の証明書」
様式2-2「がんに関する研修内容および期間の内訳」(研修病院の研修部門長に依頼)
※様式2-2は申請者が作成して、研修先に認めていただくことも可能
※Word/Excelどちらを使用しても可

様式1-2 (Excel)

「研修内容の該当性についての申請書」
(自己申告)

※根拠となる書類の、がんの研修期間に該当する部分にマーカーまたは赤線を引く
※マーカーまたは赤線を引いた部分を様式1-2に転記する

様式3「研修内容についての証明書」

(研修病院の研修部門長に依頼)

追加の様式不要

様式3「研修内容についての証明書」

(研修病院の研修部門長に依頼)

共通様式

「医療機関と薬局で連携に関する体制および実績を有する証明書」
(自施設の所属長に依頼)

表2 研修内容に必要な項目

- ア 多職種連携
- イ レジメン
- ウ 副作用のモニタリング
- エ 検査結果等に基づいた、抗がん薬処方内容の検討
- オ 支持療法
- カ 抗がん薬調製
- キ 患者への服薬指導(がんの専門研修以外の場合は、がん患者であることが明示されていること)

その他 提出が必要な様式 (全申請者共通)

WEB申請フォームから申請者情報を登録した後、以下の書類を作成する

様式4「郵送書類チェックリスト」

様式5「確認事項」